

「**験震時報**」投稿上の注意事項

- (1) 報文は原稿用紙に横がきではっきりと書き、当用漢字新かなづかいを用いる。句読点・，は1字分あけ、数字はアラビア数字とする。記号  $a$  と  $\alpha$  と  $d$ 、 $C$  と  $c$ 、 $e$  と  $l$  と  $p$ 、 $0$  と  $O$  と  $\sigma$ 、 $r$  と  $\gamma$ 、 $S$  と  $s$ 、 $W$  と  $w$ 、 $Z$  と  $z$  と  $2$ 、などはまぎらわしいから特にはっきり書く。
- (2) 論文の長さは当分のあいだ付図を含めて刷上がり8ページ以内、ただし、付図は刷上がり合計3ページ以内とする。
- (3) 報文が論文の場合、その初めに欧文の題目および内容要約をつけ、図、写真および表の説明は欧文とする。報文が報告の場合は欧文の題目をつける。
- (4) 付図は濃いすみで、ていねいに描き、むだな余白のないようにする。図中の文字は縮めても、小さくなりすぎないように大きめに書く。注や説明はわく外に活字にくめるようにする。
- (5) 写真は鮮明なもので、変色やよごれのないものにかさる。
- (6) 欧文題目、内容要約および原稿中の欧文は活字体でわかりやすくかく。欧文題目、内容要約は、できればタイプライターで打つ。

昭和37年3月15日印刷

昭和37年3月20日発行

編集兼 気 象 庁  
発行人

東京都千代田区大手町1ノ7

印刷人 田 中 春 美

東京都台東区東黒門町3

印刷所 田中幸和堂印刷株式会社

東京都台東区東黒門町3